

8月9日からの東北地方を中心とする大雨による被害状況等について

※ これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。
 ※ 下線部は、前回からの変更箇所

平成25年8月12日
 14時30分現在
 内閣府

1. 気象状況（気象庁情報：8月12日11時現在）

（1）気象の概況と見通し

【概況】

- ・8月9日は、日本海から湿った空気が流れ込み、北日本で大気の状態が非常に不安定となった。このため、秋田県・岩手県を中心に記録的な大雨となった。

【見通し】

- ・東北地方は、16日頃まで高気圧に覆われて概ね晴れるが、17日から19日にかけては気圧の谷の影響で雲の広がるところがある見込み。
- ・東北北部では、最高気温は16日頃までは30度を超えるところがある見込み。

（2）大雨の状況（8月9日0時～8月10日24時）

・主な1時間降水量

（アメダス観測値）

秋田県	鹿角 ^{かつの}	108.5ミリ	9日10時52分まで
秋田県	鎧畑 ^{よろいばた}	88.0ミリ	9日8時57分まで
秋田県	桧木内 ^{ひのきない}	81.0ミリ	9日8時39分まで
岩手県	雫石	78.0ミリ	9日12時02分まで
北海道	松前	71.5ミリ	9日6時04分まで
北海道	熊石	71.5ミリ	9日5時26分まで

（気象レーダー等による解析（※））

秋田県	大館市	120ミリ以上	9日7時30分まで
青森県	西目屋村	約120ミリ	9日7時30分まで
秋田県	北秋田市	約120ミリ	9日7時30分まで
秋田県	藤里町	約120ミリ	9日7時30分まで
北海道	八雲町	約110ミリ	9日6時00分まで
青森県	鱒ヶ沢町	約110ミリ	9日7時30分まで
岩手県	雫石町	約110ミリ	9日12時00分まで
秋田県	鹿角市	約110ミリ	9日11時00分まで
秋田県	八峰町	約110ミリ	9日7時00分まで

※レーダー等を用いて解析された降水量(1km四方毎)の市町村内の最大値を表記。

～50ミリ：5ミリ単位
 50～200ミリ：10ミリ単位
 200～500ミリ：50ミリ単位
 500～ミリ：100ミリ単位
 で表記。

・主な24時間降水量

（アメダス観測値）

秋田県	鹿角	293.0ミリ	10日5時30分まで
秋田県	鎧畑	292.0ミリ	10日5時20分まで
岩手県	雫石	267.5ミリ	10日6時00分まで
秋田県	桧木内	250.5ミリ	10日5時00分まで

北海道	八雲	217.0 ミリ	9日 22時 10分まで
(気象レーダー等による解析(※))			
青森県	西目屋村	約 400 ミリ	10日 4時 00分まで
岩手県	雫石町	約 400 ミリ	10日 5時 00分まで
秋田県	大館市	約 400 ミリ	10日 4時 00分まで
秋田県	藤里町	約 400 ミリ	10日 3時 00分まで
秋田県	秋田市	約 350 ミリ	10日 5時 00分まで
秋田県	北秋田市	約 350 ミリ	10日 4時 00分まで

・ 主な期間降水量

(アメダス観測値)

秋田県	鎧畑	294.0 ミリ
秋田県	鹿角	293.5 ミリ
岩手県	雫石	268.5 ミリ
秋田県	桧木内	254.0 ミリ
岩手県	紫波	211.0 ミリ

(気象レーダー等による解析(※))

青森県	西目屋村	約 400 ミリ
岩手県	雫石町	約 400 ミリ
秋田県	大館市	約 400 ミリ
秋田県	北秋田市	約 400 ミリ
秋田県	藤里町	約 400 ミリ
秋田県	秋田市	約 350 ミリ
秋田県	北秋田市	約 350 ミリ
秋田県	仙北市	約 350 ミリ

2. 人的・物的被害の状況 (消防庁調べ：8月12日11:30現在)

都道府 県名	人的被害				住家被害						非住家被害	
	死者	行方 不明者	負傷者		全壊	半 壊	一部 破損	床上 浸水	床下 浸水	合計	公共 建物	その他
			重傷	軽傷								
人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	
北海道								4	21	25		2
青森県								4	42	46		
岩手県	2		3	6	3	3	6	306	797	1,115		
秋田県	4	1	2	1	5	1		238	371	615	12	160
合 計	6	1	5	7	8	4	6	552	1,231	1,801	12	162

○死者の状況

岩手県：花巻市において民家に土砂が入り91歳女性が死亡

にしわがまち
西和賀町において釣りをしていた62歳男性が川で流され死亡

秋田県：仙北市において土石流により、88歳女性、61歳男性、58歳男性及び93歳男性が死亡

○行方不明者の状況

秋田県：仙北市において土石流により1名が行方不明

○孤立の状況（内閣府調べ：8月12日9:00現在）

(1) 岩手県

- ・ 盛岡市つなぎ温泉湖山荘で約30人孤立
→9日23:00につなぎ小学校に全員避難完了
- ・ 矢巾町南昌山で1名孤立
→自衛隊とともに徒歩で下山完了（10日7:41）
- ・ 雫石町
上野沢地区32世帯64名が孤立
→自衛隊により、発電発電機が到着（10日14:00）
→雫石町が2ルートの整備を進めている（うち1ルートは自衛隊車両であれば通行可）
→食糧（200食）と保健師を含むスタッフ3名を派遣（11日8:10）
→11日の夕方に孤立解消

国見温泉の2つの旅館で計22名が孤立

- うち避難を希望する12人について、10日午前中に自衛隊ヘリにより救出
- 緊急車両が通れるほどの幅を確保（10日14:00）

孤立している可能性があるとの情報があった^{よしがたい}芦ヶ平地区（3世帯程度）について、警察が孤立していないことを確認（10日13:21）

(2) 秋田県

- ・ 仙北市田沢湖生保内土砂崩れにより「駒ヶ岳温泉」宿泊客20名が孤立
→9日18:00 道路開通により解消
- ・ 大館市田代地区 土砂崩れにより保滝沢集落（9世帯25人）が孤立
→11日11:30 通行止め解除により、保滝沢集落の孤立解消
- ・ 大館市田代地区 土砂崩れにより美杉集落（4世帯19人）が孤立
- ・ 藤里町藤琴 土砂崩れにより「くるみ台キャンプ場」利用者2名が孤立
→10日9:09救助
- ・ 大館市早口 土砂崩れにより「早口ダム」職員4人及び釣り人1人が孤立
→11日16:00 通行止め解除、孤立解消

3. 避難状況等

(1) 避難指示（消防庁調べ：8月12日11:30現在）

都道府県名	市町村名	対象世帯数	対象人数	指示日時	解除日時
秋田県	大館市	16	50	8月9日 9時15分	8月9日 19時50分
小計		16	50		
合計		16	50		

(2) 避難勧告（消防庁調べ：8月12日11:30現在）

都道府県名	市町村名	対象世帯数	対象人数	勧告日時	解除日時
岩手県	盛岡市	216	417	8月9日 12時00分	8月10日 11時00分
		52	128	8時9日 14時30分	8月9日 21時05分
		1,147	2,418	8時9日 14時30分	8月9日 19時00分
	花巻市	確認中	確認中	8時9日 18時00分	8月10日 1時15分
		確認中	確認中	8時9日 18時45分	8月10日 1時15分
	紫波町	31	確認中	8時9日 12時30分	8月10日 13時00分
		確認中	確認中	8時9日 12時35分	8月10日 13時00分
		12	確認中	8時9日 17時15分	8月10日 13時00分
		確認中	確認中	確認中	8月10日 13時00分
	矢巾町	確認中	確認中	8時9日 12時50分	8月11日 8時30分
		5	16	8月9日 13時19分	8月11日 8時30分
	小計		1,463	2,979	
秋田県	大館市	5	10	8月9日 9時35分	8月9日 19時50分
		21	70	8月9日 9時50分	8月9日 19時50分
		27	69	8月9日 9時50分	8月9日 19時50分
		54	142	8月9日 9時50分	8月9日 19時50分
		8	20	8月9日 10時15分	8月9日 19時00分
		192	572	8月9日 10時25分	8月9日 19時50分
		62	189	8月9日 10時58分	8月9日 19時00分
		67	186	8月9日 11時42分	8月9日 20時45分
		819	1,909	8月9日 11時42分	8月9日 19時00分
		39	110	8月9日 14時38分	8月9日 19時00分
	鹿角市	<u>1,150</u>	<u>2,707</u>	8月9日 11時15分	8月9日 18時30分
	仙北市	<u>7</u>	<u>26</u>	8月9日 13時53分	<u>8月11日 17時10分</u>
		<u>48</u>	<u>126</u>	8月9日 13時53分	
小計		<u>2,499</u>	<u>6,136</u>		
合計		<u>3,962</u>	<u>9,115</u>		

4. その他被害の状況

(1) 土砂災害（国土交通省調べ：8月12日11:00現在）

○土石流等（2県で3件）

- ・岩手県 2件（盛岡市2）
- ・秋田県 1件（仙北市1）

○がけ崩れ（4県で17件）

- ・北海道 2件（松前町2）
- ・青森県 1件（弘前市1）
- ・岩手県 3件（花巻市1、盛岡市1、雫石町1）
- ・秋田県 11件（鹿角市11）

※上記以外の事象についても現在確認中。

(2) 河川（国土交通省調べ：8月12日11:00現在）

○国管理河川の出水状況

- ・現在、計画高水位を超えている河川 なし
- ・現在、はん濫危険水位を超えている河川 なし
- ・現在、避難判断水位を超えている河川 なし
- ・現在、はん濫注意水位を超えている河川 なし

(3) ライフライン

○電力（経済産業省調べ：8月12日10:00現在）

・東北電力株

①停電戸数： 0戸（延べ停電数 6,515戸）

岩手県 盛岡市、花巻市、雫石町
秋田県 大館市、仙北市

②主な設備被害

土砂崩れによる電柱倒壊、倒木や落雷による高圧線断線等
秋田支店管内「下台発電所」浸水、「先達発電所」発電機冠水
岩手県内3カ所の鉄塔周辺で土砂崩れ、保安停止

・東京電力株

①停電戸数： 0戸（延べ停電数 約11,300戸）

栃木県 那須塩原市、宇都宮市、真岡市
群馬県 前橋市
茨城県 ひたちなか市、坂東市
東京都 調布市、小金井市、府中市、三鷹市
神奈川県 川崎市麻生区、山北町、川崎市多摩区
山梨県 笛吹市
静岡県 御殿場市、裾野市、富士市

③主な設備被害 天候不良による設備損壊。

・関西電力株

①停電戸数： 0戸（延べ停電数 約8,933戸）

京都府 宇治市
滋賀県 長浜市
兵庫県 丹波市、宍粟市、佐用郡、三木市、小野市、加東市

②主な設備被害 落雷による配電設備損傷

・九州電力株

①停電戸数： 0戸（延べ停電数 約1,341戸）

宮崎県 児湯郡西米良村、東臼杵郡椎葉村

○都市ガス（経済産業省調べ：8月12日12:40現在）

被害情報なし

○水道（厚生労働省調べ：8月12日12:00現在）

県、市町村名	最大断水戸数	現在の断水戸数	断水期間	被害状況
【秋田県】 鹿角市	34戸	復旧済み	H25.8.9～ H25.8.10	橋梁添架管、配水管破損
大館市	498戸	498戸	H25.8.10～	取水ポンプの電気系統の故障
藤里町	55戸	復旧済み	H25.8.9	一部断水
仙北市	237戸	復旧済み	H25.8.9～ H25.8.11	濁り、水源の破損
【岩手県】 紫波町	6戸	復旧済み	H25.8.9	配水管損傷
矢巾町	15戸	復旧済み	H25.8.9～ H25.8.11	水管橋破損
雫石町	61戸	11戸	H25.8.9～	配水管損傷、ポンプ場の冠水

【応急給水状況】

・秋田県

（大館市）給水車による給水を実施

・岩手県

（雫石町）ポリタンクによる給水を実施

○通信関係の状況（総務省調べ：8月12日12:30現在）

	事業者	被害状況等
固定電話	NTT 東日本	・被害なし
	NTT 西日本	・被害なし
	NTT コミュニケーションズ	・被害なし
	KDDI	・被害なし
	ソフトバンクテレコム	・被害なし
携帯電話等	NTT ドコモ	・1局（岩手県）が停波
	KDDI（au）	・1局（岩手県）が停波
	ソフトバンクモバイル	・被害なし
	イー・モバイル	・被害なし
	ウィルコム	・被害なし
	UQ コミュニケーションズ	・被害なし
	WCP	・被害なし

○放送関係の状況（総務省調べ：8月12日12:30現在）

<地上波>被害なし

(4) 道路（国土交通省調べ：8月12日7:30現在）

- ・高速道路の通行止め状況：現在、通行止め区間なし
- ・直轄国道の通行止め状況：現在、通行止め区間なし

路線名	区間名	被災状況	備考
国道46号	岩手県雫石町柿木～ 秋田県仙北市田沢湖生保内 (区間延長25km)	路面冠水 土砂崩れ 土砂流出	8/9 11:07～ 全面通行止め 区間内：10箇所被災 人身物損：トラック10台、乗用車24台、 バス6台 17:30 車両及び人員すべて救出 迂回路あり 孤立なし 8/9 20:55 道路啓開により緊急車両通 行可 8/10 国総研により現地調査 8/11 要対策箇所11箇所中9箇所応急対 策済 引き続き応急対策実施 8/12 7:00 応急復旧を完了し、規制解除

- ・都道府県管理国道の通行止め状況：0区間
- ・都道府県道の通行止め状況
現在、14区間で通行止め（法面崩落等）（秋田県8、岩手県6）

(5) 交通機関

○鉄道（国土交通省調べ：8月12日11:00現在）

・現在、1事業者1路線で運行休止

事業者名	線名	運転休止区間	運転休止		運転再開		主な被害状況等
			日	時刻	日	時刻	
JR東日本	花輪線	松尾八幡平駅 ～大館駅間	9	7:09			道床流出 (十和田南駅～末広駅間)
	奥羽線	東能代駅～ 大館駅間	9	6:45	12	6:33	軌道変位 (下川沿駅～大館駅間)
	田沢湖線	角館駅～盛岡駅間	9	8:43	12	5:22	土砂流入 (雫石駅～田沢湖駅間) 盛土崩壊 (赤淵駅～田沢湖駅間)

・秋田新幹線は8/12より運転再開。

(6) 文教施設等（文部科学省調べ：8月12日12:00現在）

区分	被災箇所数
国立学校施設	1
公立学校施設	16
私立学校施設	
社会教育・体育、文化施設等	6
文化財等	
研究施設等	
計	23

主な被害状況：法面崩落、浸水、土砂流入等

(7) 農林水産関係（農林水産省調べ：8月12日12:00現在）

区分	主な被害	被害数	被害地域 (現在4道県から報告あり)
農作物等	農作物の冠水等	966ha	岩手県、秋田県
	家畜の斃死	4,300羽	秋田県
	ビニールハウスの損 壊	9棟	秋田県
農地・農業用施設 関係	農地の損壊	394箇所	岩手県
	農業用施設の損壊	114箇所	岩手県
林野関係	林地荒廃	20箇所	北海道、青森県、岩手県、秋田県
	治山施設	4箇所	岩手県、秋田県
	林道施設等	140箇所	青森県、岩手県、秋田県

注：被害については、現時点で判明しているものを記載しており、引き続き調査中。

(8) 社会福祉施設等関係（厚生労働省調べ：8月12日12:00現在）

- ・岩手県雫石町で1か所被災（一部床下浸水）。人的被害なし。
- ・岩手県盛岡市で1か所被災（土砂流入）。人的被害なし。

(9) 病院等関係（厚生労働省調べ：8月12日12:00現在）

- ・秋田労災病院（秋田県大館市）で地下トレンチ、職員食堂等雨漏りあり

(10) その他

○がれきの発生状況（環境省調べ：8月12日13:00現在）

東北地方：秋田県（鹿角市、大館市、仙北市）にて災害廃棄物の発生見込みあり。
発生量については調査中。

北海道：被害報告なし

5. 政府の主な対応

(1) 内閣総理大臣指示

安倍内閣総理大臣から以下の指示が発せられた。（8月9日13:30）

- 〔 人命を第一として、以下の三点を行うこと。 〕
- ①被害状況の迅速な確認
 - ②迅速な避難措置の徹底など、住民の安全の確保
 - ③ライフラインの確保

(2) 政府調査団の派遣

- ・西村内閣府副大臣（防災担当）を団長とする政府調査団を秋田県に派遣予定（8月13日）
- ・亀岡内閣府大臣政務官（防災担当）を団長とする政府調査団を岩手県に派遣予定（8月13日）

(3) 関係省庁災害対策会議等の開催

- ・関係省庁災害対策会議を開催し、今後の気象状況の見通し及び被害状況並びに各省庁の対応状況について情報共有を行うとともに、以下のとおり確認した。（8月9日13:30）

- 〔 8月9日からの東北地方を中心とする大雨等への対応にあたり、以下のとおり、関係地方公共団体と連携を密にし、政府一丸となって、対応に万全を期することとする。 〕
- ①気象庁から、記録的な大雨に関する情報が発表されていることを踏まえ、引き続き、今後の気象状況を注視しながら、緊張感を持って、警戒・監視にあたること
 - ②早急な被害状況の把握に努め、関係省庁間の情報共有を図ること
 - ③被災した地域における被害の拡大防止に努めること

(4) 自衛隊の災害派遣

【岩手県雫石町・矢巾町における土砂災害に係る人命救助・物資輸送・人員輸送】

- ・岩手県知事から第9特科連隊長に対して、人命救助に係る災害派遣要請（8月9日12:30）

- ・雫石町上野沢地区、西安庭^{にしあにわやびつ}矢櫃への物資輸送が追加要請（8月10日）

- ・雫石町上野沢地区への人員輸送が追加要請（8月11日）

[派遣部隊] 陸自 第9特科連隊（岩手）、第9高射特科大隊（岩手）、
第9飛行隊（八戸）

[派遣規模] 人員 約50名（延べ約210名）

車両 約15両（延べ約55両）

航空機 1機（延べ7機）

[撤収要請] 8月11日 18:20

【秋田県仙北市における土砂災害に係る人命救助】

- ・秋田県知事から第21普通科連隊長に対して、人命救助に係る災害派遣要請（8月9日14:29）

[派遣部隊] 陸自 第21普通科連隊（秋田）、第357施設中隊（秋田）

[派遣規模] 人員 約170名（延べ約670名）

車両 約55両（延べ約185両）

(5) 広域応援

○消防関係

- ・岩手県から宮城県に対し、消防防災ヘリコプターの運航不能期間等における北海道・東北8県相互応援協定に基づく応援を要請(8月9日14:50)
- ・宮城県防災航空隊が岩手県雫石町方面において上空から情報収集活動実施(8月9日)
- ・宮城県防災航空隊が岩手県矢巾町方面において上空から情報収集活動実施予定(8月10日)

(6) 災害救助法の適用

下記市町村は、いずれも、多数の者が生命等に危害を受けるおそれが生じており、避難して継続的な救助が必要なため

- ・岩手県：雫石町(8月9日適用)
- ・秋田県：大館市、鹿角市、仙北市(8月9日適用)

(7) 各府省庁の対応

①内閣府の対応

- ・内閣府情報対策室を設置(8月9日8:25)

②警察庁の対応

- ・警察庁は、関係管区警察局や都道府県警察との連絡体制を強化するとともに関連情報の収集を実施
- ・宮城県警察、福島県警察、山形県警察の各広域緊急援助隊に対し、待機指示(8月9日12:25)
- ・宮城県警察、福島県警察、山形県警察の各広域緊急援助隊に対し、待機解除(8月9日16:10)

③消防庁の対応

- ・災害対策室設置(8月9日8:24)
- ・北海道、青森県、岩手県及び秋田県に対し適切な対応を呼びかけるとともに、速やかに被害状況を報告するよう要請(8月9日8:45)

④海上保安庁の対応

- ・気象警報等に留意し、随時、即応態勢をとり、情報収集を実施

⑤金融庁の対応

- ・災害救助法の適用決定を受け、秋田県内の関係金融機関等に対し、日本銀行と財務省東北財務局秋田財務事務所の連名で「8月9日からの大雨の被害にかかる災害に対する金融上の措置について」を発出し、預金の払戻時の柔軟な取扱い等、被災者の便宜を考慮した適時的確な措置を講ずるよう要請(8月9日)
- ・災害救助法の適用決定を受け、岩手県内の関係金融機関等に対し、日本銀行と財務省東北財務局盛岡財務事務所の連名で「8月9日からの大雨の被害にかかる災害に対する金融上の措置について」を発出し、預金の払戻時の柔軟な取扱い等、被災者の便宜を考慮した適時的確な措置を講ずるよう要請(8月10日)

⑥総務省の対応

- ・災害救助法の適用を受けた地域を告知先とする無線局免許人に対し、電波利用料債権の催促状及び督促状の送付を停止する措置を実施(8/12秋田県大館市、秋田県鹿角市、秋田県仙北市、岩手県岩手郡雫石町)。

⑦文部科学省の対応

- ・北海道・青森県・秋田県の各教育委員会に対し、防災態勢の強化を図るとともに、児童

- 生徒等の安全確保及び施設の安全確保等に万全を期すよう要請（8月9日10:58）
- ・文部科学省災害情報連絡室（室長：施設企画課長）を設置（8月9日11:30）
- ・北海道・青森県・秋田県・岩手県の各教育委員会に対し、防災態勢の強化を図るとともに、児童生徒等の安全確保及び施設の安全確保等に万全を期すよう要請（8月9日11:50）

⑧厚生労働省の対応

- ・避難所の生活環境の整備等について、十分な配慮を行うよう各県に通知（8月12日）

⑨農林水産省の対応

- ・東北森林管理局がヘリコプターによる現地調査を秋田県及び森林総合研究所と連携して実施（8月11日）

⑩経済産業省の対応

- ・8月9日からの秋田県及び岩手県の大雨等による災害に係る災害救助法が適用されたことを踏まえ、被災中小企業者対策として、特別相談窓口の設置、災害復旧貸付の適用、既往債務の返済条件緩和等、小規模企業共済災害時即時貸付の適用の措置を講じた（8月12日）

⑪国土交通省の対応

【防災ヘリコプターによる被害状況調査】

- ・東北地方整備局防災ヘリコプター「みちのく号」により秋田県仙北市上空等、八幡平山系砂防の調査を実施（8月9日～8月10日）
- ・北陸地方整備局防災ヘリコプターによる秋田県北部の調査を実施（8月10日）

【リエゾンの派遣】

- ・北海道開発局より北海道松前町、松島町へリエゾンをそれぞれ2名、計4名派遣し、被害情報収集中（8月9日）
- ・東北地方整備局より青森県庁、岩手県庁、岩手県紫波町、矢巾町、盛岡市、雫石町、花巻市、秋田県庁、秋田県大館市、仙北市へ47人・日リエゾンを派遣し被害情報の収集や自治体からの要望等に対する調整に従事（8月9日～8月11日）

【TEC-FORCEの派遣】

- ・東北地方整備局より岩手県矢巾町、雫石町へTEC-FORCEを4人・日派遣し道路被災調査等自治体支援を実施（8月10日）

【国土技術政策総合研究所の対応（土砂災害専門家の派遣）】

- ・秋田県の要請により、国土技術政策総合研究所職員2名を仙北市に派遣し、土砂災害状況の確認及び今後の対応に関する技術指導を実施（8月10日）

【各地方整備局の実出動台数（台）8月12日11:00現在】

機械名	北海道開発局	東北地整	合計
排水ポンプ車		12	12
照明車	3	12	15
対策本部車		2	2
待機支援車		1	1
衛星通信車		1	1
Ku-SAT		2	2
合計	3	30	33

⑫気象庁の対応

- ・記録的な大雨に関する全般気象情報発表（8月9日8:24） 対象：秋田県
- ・記者会見：秋田県にこれまでに経験したことのないような大雨。最大級の警戒を呼びかけ。（8月9日9:30）
- ・記録的な大雨に関する全般気象情報発表（8月9日12:22） 対象：岩手県

- ・ 記者会見：岩手県にこれまでに経験したことがないような大雨。最大級の警戒を呼びかけ。(8月9日 13:30)
- ・ 気象庁として、引き続き気象状況の把握と情報発信に努める。